

特別養護老人ホームグリーンヒル

令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰 奨励賞

■基本情報

- ・社会福祉法人あけあい会
- ・介護老人福祉施設
- ・三重県津市緑が丘一丁目1-1
- ・利用者数：60名、従業員数：51名（常勤42名・非常勤9名）
※利用者数及び従業員数は令和6年1月1日時点
- ・ホームページURL：<https://www.akeai.or.jp>

■主な取組概要

- ・特別休暇（誕生日休暇、リフレッシュ休暇）の創設や有給休暇奨励日の設定、企業主導型保育園の運営や社宅の完備による職場環境の整備
- ・介護ロボット（見守り支援システム）やタブレットなどテクノロジーを活用した介護職員の負担軽減の取組
- ・ブレインリハビリテーションや大人の塗り絵（全7,600画像）等のレクリエーション用コンテンツ（※）、介護の法定研修や国家資格取得に向けたEラーニングシステムの独自開発（※）コンテンツは当法人のルミナス学院のホームページより無料でダウンロードできる。

■主な成果

- ・平均有給休暇取得日数(1人当たり)：14.2日/年(令和3年度)→19.8日/年(令和4年度)
- ・離職率：9%(令和3年度)→2%(令和5年度)
- ・平均超過勤務時間(1人当たり)：5.7時間/月(令和3年度)→3.1時間/月(令和4年度)
- ・眠りSCANの導入により、職員アンケート調査の結果では職員の95%が「業務負担・精神的負担が軽減された」と回答。
- ・法人内教育機関「ルミナス学院」において独自開発したEラーニングシステムの活用により令和5年度の介護福祉士合格率は100%。

自社開発「ブレインリハビリテーション」



自社開発「大人の塗り絵」



自社開発「Eラーニングシステム」

〇コースメニュー

- 法定研修動画
- 介護技術評価
- 介護福祉士対策
- ケアマネ対策
- CMコンテスト
- 日本語学習 N 2
- 日本語学習 N 3
- 書き写し

身体拘束廃止に向けての対応例 2

経管栄養滴下時、チューブ抜去の危険がある場合



特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム

令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰 奨励賞

■基本情報

- ・ 社会福祉法人鈴鹿福祉会
- ・ 介護老人福祉施設
- ・ 三重県鈴鹿市深溝町字北林2956番地
- ・ 利用者数：90名、従業員数：72名（常勤55名・17名）
※利用者数及び従業員数は令和6年1月1日時点
- ・ ホームページURL：<https://suzuka-greenhome.jp/>

■主な取組概要

- ・ 「働き方を改善して、仕事と家庭の両立を図る」ことを目指し、テクノロジー（介護ロボット（8機種：55台）、ICT（13種類）、介護機器（6種類以上））を組み合わせフル活用した介護の実践
- ・ テクノロジー導入による職場満足度の改善や夜勤時の職員の少人数配置
- ・ ホームページ内の「グリーンホームだより」に施設内の毎日の出来事を掲載するなど、利用者や家族等に向けた積極的な情報発信

■主な成果

- ・ 職場満足度（職員アンケートの設問「総合的にみて職場の労働環境にどの程度満足していますか？」の満足・やや満足の割合）：47.2%（取組前）→78.3%（取組後）
- ・ 「見守り支援機器の全床設置＋インカム装着の有無」による夜勤者の心理的負担評価の変化（SRS-18で「弱い（7点以下）」と回答した割合）：50%（取組前）→80%（取組後）
- ・ ユニット型30床における対応可能人数（夜勤者1人あたりの担当利用者数）：15人（取組前）→29.3人（取組後）
- ・ リフト浴、床走行式電動介護リフト、非装着型移乗支援ロボット「SASUKE」の3機種の活用により、介護職員の抱え上げ作業の負担が軽減された総重量：37.4t/月
- ・ 導入以降の介護テクノロジーの使用によるヒヤリ・ハット及び介護事故件数：0件

